

秘書職員課

秘書調查係  
人事係  
職員厚生係

# 秘 書 調 査 係

## 1 渉 外

### (1) 基 地 関 係

年 月 日	件 名
52. 4. 4	横田基地対策特別委員会行政視察（沖縄）6日まで
8	基地関係税務協議会総会
12	防衛施設庁陳情
13	防衛施設局長来庁
14	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会及び総会
15	防衛施設庁、局陳情
18	防衛施設周辺整備協会準備委員会
26	多摩地区離職対策連絡協議会常任委員会
27	防衛施設局施設部長来庁
28	自由通路開通式
5. 4	防衛施設局陳情
11	防衛施設局総務部長来庁
16	多摩地区離職対策連絡協議会 東京都・防衛施設庁陳情
18	防衛施設庁、局陳情
19	防衛施設周辺整備協会設立委員会
23	離対センター打合せ会議
25	防衛施設庁、局陳情
30	多摩地区離職対策連絡協議会総会
6. 1	横田基地対策特別委員会 防衛施設庁、局陳情
2	福田総理 防衛庁長官陳情
6	立川市議会議長と立川・横田基地対策協議会打合せ
8	防衛施設局次長来庁
10	自治省陳情
13	防衛施設局次長来庁
15	福生市防衛協会定期総会

年 月 日	件 名
6. 21	防衛施設庁、局陳情
23	防衛施設周辺整備協会理事長来庁
25	横田基地対策特別委員会
27	防衛施設局陳情
28	横田基地司令官と面会
29	市民会館落成式
7. 2	多摩地区離職対策連絡協議会常任委員会
4	横田基地対策特別委員会・防衛施設局陳情
5	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会担当職員会議
8	” ” 正副会長会議
12	防衛施設局施設部長来庁
19	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会及び正副会長会議
21	防衛施設庁長官陳情
22	自治省陳情
26	自治省・防衛施設庁陳情
29	防衛庁長官陳情
8. 2	国会・大蔵省・防衛施設庁挨拶回り
4	在日米軍司令官・横田基地司令官来庁
8	防衛施設庁、局陳情
9	”
11	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議
12	大蔵省陳情
12	防衛施設周辺整備協会理事会
19	防衛施設庁、局陳情
25	横田基地司令官と面会
25	防衛施設局次長来庁
25	自民党基地対策特別委員会陳情
27	東京離対センター協力会総会
29	防衛施設庁、局陳情
30	自治省陳情

年 月 日	件 名
9. 2	横田基地国際親善の夕べ
8	自治省来庁
21	防衛施設庁長官陳情
24	離対センター評議員会
28	横田基地司令官と面会
29	防衛施設庁長官陳情
10. 5	防衛施設庁、局陳情
8	多摩地区離職対策連絡協議会常任委員会
14	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同正副会長会議
11. 7	嘉手納町議会来庁
8	国会・防衛庁陳情
9	多摩地区離職対策連絡協議会
15	防衛施設庁、局陳情
21	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会
28	立川・横田基地対策協議会役員会
29	自治省陳情
12. 1	横田基地対策特別委員会
5	防衛庁長官陳情
13	国会・大蔵大臣陳情
19	横田基地クリスマスパーティー
21	防衛施設周辺整備協会理事会
24	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議
25	” 国会・関係省庁陳情
26	” ”
27	” ”
27	防衛施設局次長来庁
28	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会・国会・関係省庁陳情
29	”
53. 1. 6	大蔵省・自治省・防衛施設庁挨拶回り
10	横田基地司令官と面会

年 月 日	件 名
53. 1. 11	国会挨拶回り
13	防衛施設局次長来庁
18	大蔵省陳情
23	防衛施設局長来庁
24	横田基地対策特別委員会
24	防衛施設局・総務部長来庁
30	全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会
2. 1	横田基地対策特別委員会陳情
3	防衛施設局長来庁
13	防衛施設庁 局陳情
14	自治省陳情
28	防衛施設庁、局陳情
3. 1	市駐留軍離職者対策連絡協議会
7	大蔵省・防衛施設庁陳情
22	防衛施設庁、局陳情
25	東京離対センター評議員会
27	国会・自治省・防衛施設庁陳情
29	防衛施設周辺整備協会理事会
30	自治省陳情

(2) 八高線電車化促進期成同盟会

国鉄八高線の電車化を促進し、沿線地域の経済開発を図り、関係住民の福利の増進に寄与するため、関係省庁に対して早期電車化実現の陳情を行ってきた。

加入団体は、次の17市町村

東京都	八王子市	昭島市	福生市	瑞穂町
埼玉県	入間市	飯能市	日高市	毛呂山町
	越生町	小川町	寄居町	児玉町
	都幾川村	美里村	神川村	
群馬県	藤岡市	高崎市		

(3) 三鷹、立川間立体化複々線促進協議会

中央線及び青梅線の輸送力の増強によって、地域社会の開発、住民福祉の向上を期するため、三鷹、立川間の立体化複々線の線増、並びに青梅線及び五日市線の都心への直通運転の実現を目指して、関係省庁に対し強く要望してきた。また本格的な事業実施に向けての前段階として、中央線の輸送需要の予測等の調査を財団法人都市計画協会へ委託した。

加入団体は、次の19市町村

立川市	青梅市	昭島市	国分寺市	国立市
福生市	八王子市	日野市	秋川市	東村山市
小平市	武蔵村山市	東大和市	瑞穂町	羽村町
奥多摩町	五日市町	日の出町	檜原村	

(4) 青梅線、五日市線、八高線改善期成同盟会

青梅線、五日市線及び八高線の改善を期し、住民福祉の増進を図るため、関係省庁、国鉄当局等へ強く要望してきた。加入団体は、次の9市町村

青梅市	福生市	秋川市	瑞穂町	羽村町
五日市町	奥多摩町	日の出町	檜原村	

## 2 収益事業（競輪）

東京都市収益事業組合の主催による本年度の開催回数、成績は次のとおりであります。

回数	開催日	競輪場	売上額 円	入場者数 人
1	6. 5 ~ 6. 7 6. 9 ~ 6. 11	立 川	2,757,685,900	96,980
2	7. 24 ~ 7. 26 7. 28 ~ 7. 30	”	2,995,834,900	101,613
3	9. 1 ~ 9. 3 9. 4 ~ 9. 6	”	2,793,749,900	97,965
4	11. 10 ~ 11. 12 11. 13 ~ 11. 15	”	2,650,841,600	93,862
5	11. 23 ~ 11. 25 1. 29 ~ 1. 31	”	3,257,476,100	111,338
6	2. 9 ~ 2. 11 2. 26 ~ 2. 28	京王閣	3,323,236,600	106,176
7	3. 5 ~ 3. 7 3. 12 ~ 3. 14	”	3,385,684,400	110,673
	合 計		21,164,509,400	718,607

収益金の配分額は次のとおりであります。

配 分 金            142,000,000 円

# 人 事 係

## 1 特別職の職別職員数

職 名	職員数	職 名	職員数
市長	1人	選挙管理委員会委員	4人
助 役	1	農業委員会委員	16
収入 役	1	固定資産評価審査委員会委員	3
市議会議員	23	監 査 委 員	2
教育委員会委員	5		

## 2 課別職員数

区 分	吏 員 雇 員				技 能 労務職	計	男	女
	事務	技術	主事補	技師補				
企画財政課	14人					14人	12人	2人
秘書職員課	8		2		1	11	8	3
庶務課	17		5		10	32	20	12
税務課	25		4			29	23	6
市民課	20		10			30	18	12
環境保全課	15		1		6	22	18	4
経済課	7		3			10	9	1
福祉事務所	29		4		10	43	14	29
建設課	6	6	3		8	23	21	2
用地課	5	1	1			7	7	0
都市計画課	7		2	2		11	10	1
下水道課	8	7				15	14	1
水道事務所	15	7	2		8	32	28	4
市民会館	4		1		1	6	5	1
会計課	4		2			6	4	2
議会事務局	6				1	7	5	2
選挙管理委員会事務局	3					3	2	1



監査委員事務局	1		1			2	1	1	
教育委員 会	庶務課	7	4	2		20	33	19	14
	学務課	16		4		13	33	18	15
	社会教育課	12		5		1	18	14	4
	公民館	3		2			5	5	0
合計	232	25	54	2	79	392	275	117	

### 3 発 令

#### (1) 昇 格

年月日	氏 名	任 命 事 項	年月日	氏 名	任 命 事 項
52. 4. 1	岡野 康弘	事務吏員主事	52. 4. 1	佐野 光江	事務吏員主事
	市川 信明	〃	52. 6. 1	岩崎 好亮	企画財政課長補佐
	小林 正明	〃		坂本 昭	秘書職員課長補佐
	築地 英明	〃		矢崎 茂夫	環境保全課長補佐
	小林 昌男	〃		佐藤喜一郎	福祉事務所長補佐
	小林 重雄	〃		関口 清	下水道課長補佐
	中村 守一	〃		野沢 久人	市民会館長 (公民館長併任)
	井上 秀男	〃		橋本 好夫	教育委員会 庶務課長補佐
	芦澤 重利	〃		森田 則夫	税務課市民税係長
	長澤 功	〃		市川 公一	建設課工事係長
	檜島 功友	〃		青木 近三	公民館事業係長
	平野 頼利	〃	52. 7. 1	関根 正文	事務吏員主事
	兎島 和夫	技術吏員主事		早川 新一	〃
	渡辺 公子	事務吏員主事		町田江利子	〃
	荻原佐戸子	〃		清水 初代	〃
	江田美智子	〃		町田 泰祐	技術吏員主事
	尾野 幸恵	〃		遠藤 寛治	〃
	平井 和子	〃	52.10. 1	佐藤 寿子	事務吏員主事
	秋山喜久江	〃			
	築茂 方江	〃			
	島 弘	〃			

## (2) 異 動

年 月 日	氏 名	異 動 後	異 動 前
52. 4. 1	田 中 益 雄	企画財政課	市 民 課
	坂 本 勝 久	〃	下 水 道 課
	平 井 和 子	〃	〃
	峰 岸 一 彦	秘書職員課	教育委員会庶務課
	原 島 芳 江	庶 務 課	水道事務所
	塩 野 勝 己	〃	市 民 課
	星 野 恭一郎	〃	福祉事務所
	丹 生 美代子	〃	税 務 課
	関 根 正 文	〃	市 民 課
	小 林 作 二	税 務 課	企画財政課
	成 沢 秀 樹	〃	環境保全課
	常 山 隆 夫	〃	福祉事務所
	荒 井 隆 幸	市 民 課	環境保全課
	中 村 しげ子	〃	福生第四小学校
	町 田 江利子	〃	教育委員会庶務課
	金 子 秀 二	〃	経 済 課
	田 辺 恒 久	〃	庶 務 課
	島 田 兼 男	経 済 課	水道事務所
	明 診 誠	〃	市 民 課
	田 中 実	福祉事務所	教育委員会学務課
	土 井 真	〃	環境保全課
	秋 山 喜久江	〃	市 民 課
	木 崎 正 美	建 設 課	庶 務 課
	石 川 弘	用 地 課	会 計 課
	浜 名 貞 雄	〃	経 済 課
	三 田 正 男	下 水 道 課	都市計画課
	並 木 克 益	〃	用 地 課
	笹 本 喜美枝	〃	教育委員会学務課
	山 崎 勇	〃	都市計画課

年 月 日	氏 名	異 動 後	異 動 前
52. 4. 1	島 田 忠 好	水道事務所	企画財政課
	野 崎 隆 晴	〃	税 務 課
	望 月 茂	〃	教育委員会庶務課
	江 田 美智子	〃	福生第七小学校
	田 村 義 富	〃	下 水 道 課
	小 林 正 明	環境保全課	教育委員会庶務課
	中 野 武 子	〃	福生第一中学校
	山 本 定 行	都市計画課	税 務 課
	峰 岸 均	〃	教育委員会学務課
	三 田 千恵子	会 計 課	市 民 課
	相 川 定 男	福 社 会 館	福生第二小学校
	森 山 豊	建 設 課	水道事務所
	木住野 佑 治	教育委員会学務課	企画財政課
	青 木 近 三	〃 社会教育課	秘書職員課
	上 野 昌 子	〃 〃	庶 務 課
	村 野 光 治	〃 〃	税 務 課
	高 橋 泰	〃 庶務課	市 民 課
	栗 原 武 平	学校給食センター	建 設 課
	原 島 寿 子	教育委員会学務課	〃
	東 芳 行	〃 〃	用 地 課
	高 山 庫 夫	〃 庶務課	下 水 道 課
	藤 井 昭 二	〃 社会教育課	水道事務所
	町 田 泰 祐	〃 庶務課	〃
	小 島 岩 雄	学校給食センター	都市計画課
	高 島 博	福生第二小学校	庶 務 課
52. 6. 1	乙 津 宗 吉	企画財政課主幹	庶 務 課 長
	森 田 武	庶 務 課 長	西多摩衛生組合
	田 村 一 郎	西多摩衛生組合	庶務課文書係長
	岩 崎 好 亮	企画財政課長補佐	企画財政課財政係長
	坂 本 昭	秘書職員課長補佐	秘書職員課秘書調査係長

年 月 日	氏 名	異 動 後	異 動 前
52. 6. 1	矢 崎 茂 夫	環境保全課長補佐	秘書職員課人事係長
	佐 藤 喜一郎	福祉事務所長補佐	企画財政課契約係長
	関 口 清	下水道課長補佐	都市計画課計画係長
	橋 本 好 夫	教育委員会庶務課長補佐	教育委員会庶務課庶務係長
	須 崎 寛	企画財政課契約係長	環境保全課環境衛生係長
	渡 辺 勲	秘書職員課人事係長	税務課市民税係長
	森 田 雅 樹	庶務課庶務係長	市民課保険係長
	井 梅 義 彰	〃 文書係長	福祉事務所庶務係長
	岡 本 泰 昌	〃 市民相談係長	教育委員会学務課学務係長
	篠 崎 寛	税務課庶務係長	庶務課庶務係長
	長谷川 一 則	福祉事務所福祉第一係長	〃 市民相談係長
	町 田 光 輝	市民課保険係長	税務課庶務係長
	下 野 利 市	都市計画課計画係長	教育委員会庶務課施設係長
	森 田 正 久	都市計画課 福生駅東口開発担当主査	水道事務所工務係長
	野 島 照 明	下水道課工事係長	建設課工事係長
	川 辺 登茂次	水道事務所工務係長	下水道課計画係長
	富 山 敬 夫	〃 給水係長	議会事務局庶務係長
	横 田 邦 夫	〃 浄水場係長	水道事務所給水係長
	柚 木 誠 一	議会事務局庶務係長	福祉事務所福祉第一係長
	松 沢 清	教育委員会庶務課施設係長	下水道課工事係長
	児 島 勝	〃 学務課学務係長	都市計画課 福生駅東口開発担当主査
	田 村 功	市民会館(公民館)管理係長	福社会館副館長
	柳 沢 正 一	建 設 課	都市計画課
	志 村 芳 次	〃	〃
	関 根 信 春	〃	水道事務所
	青 木 近 三	公民館事業係長	教育委員会社会教育課
	上 野 昌 子	市民会館	〃
	村 野 光 治	〃	〃
	藤 井 昭 二	〃	〃
	相 川 定 男	〃	福社会館

年 月 日	氏 名	異 動 後	異 動 前
52. 6. 1	松 坂 直 人	公 民 館	教育委員会社会教育課
	加 藤 有 孝	”	”
	金 子 幸 夫	”	”
	高 橋 一 郎	”	”
52. 7. 1	池 島 幸 子	庶 務 課	学校給食センター
52. 8. 1	板 橋 良 二	水道事務所	建 設 課
	田 辺 幸 枝	建 設 課	福生第六小学校
52. 12. 1	小 池 義 昌	秘書職員課	水道事務所

(3) 採 用

年 月 日	氏 名	所 属	職 名 種
52. 4. 1	野 島 保 代	環境保全課	事 務 職
	大 越 英 世	市 民 課	”
	沢 田 弘 子	”	”
	広 瀬 小百合	福祉事務所	”
	木 下 雅 枝	税 務 課	”
	橋 谷 頼 子	福祉事務所	保 母
	久 松 卓 代	福生第四小学校	事 務 職
	丸 山 澄 江	福生第七小学校	”
	七 戸 裕 子	福生第一中学校	”
	槇 村 房 子	図 書 館	”
	栗 原 敬 子	”	”
	橋 本 洋 子	”	”
	森 田 秀 敏	”	”
	金 子 幸 夫	教育委員会社会教育課	”
	高 橋 一 郎	”	”
	神 田 春 美	教育委員会庶務課	”
52. 7. 1	山 崎 俊 一 郎	都市計画課	技 術 職
	秋 本 真 知 子	税 務 課	事 務 職

年 月 日	氏 名	所 属	職 種
52. 8. 1	松 永 雅 子	福生第六小学校	事 務 職
52. 10. 1	伊 藤 祥二郎	学校給食センター	作 業 員
	小 野 幸 雄	水道事務所	技能労務職

(4) 派 遣

氏 名	職 名	事 項
井 梅 義 彰	福祉事務所庶務係長	自治大学校二部59期生 52. 4. 6 ~ 52. 6. 23
橋 本 好 夫	教育委員会庶務課長補佐	" 60期生 52. 10. 5 ~ 52. 12. 24
矢 崎 茂 夫	環境保全課長補佐	" 61期生 53. 1. 6 ~ 53. 3. 25
田 村 一 郎	課長補佐	西多摩衛生組合 52. 6. 1 ~

(5) 退 職

年 月 日	氏 名
52. 4. 30	松 本 朝 子
52. 6. 1	小 室 八 千 代
52. 6. 9	加 藤 芳 秋
52. 6. 13	田 中 好 江
52. 7. 21	清 水 常 男
52. 12. 2	築 茂 方 江
52. 12. 8	上小牧 千代子
52. 12. 31	小 池 義 昌
"	関 根 信 春
53. 1. 31	栗 原 武 平
53. 3. 31	久 下 純 子
"	原 島 芳 江

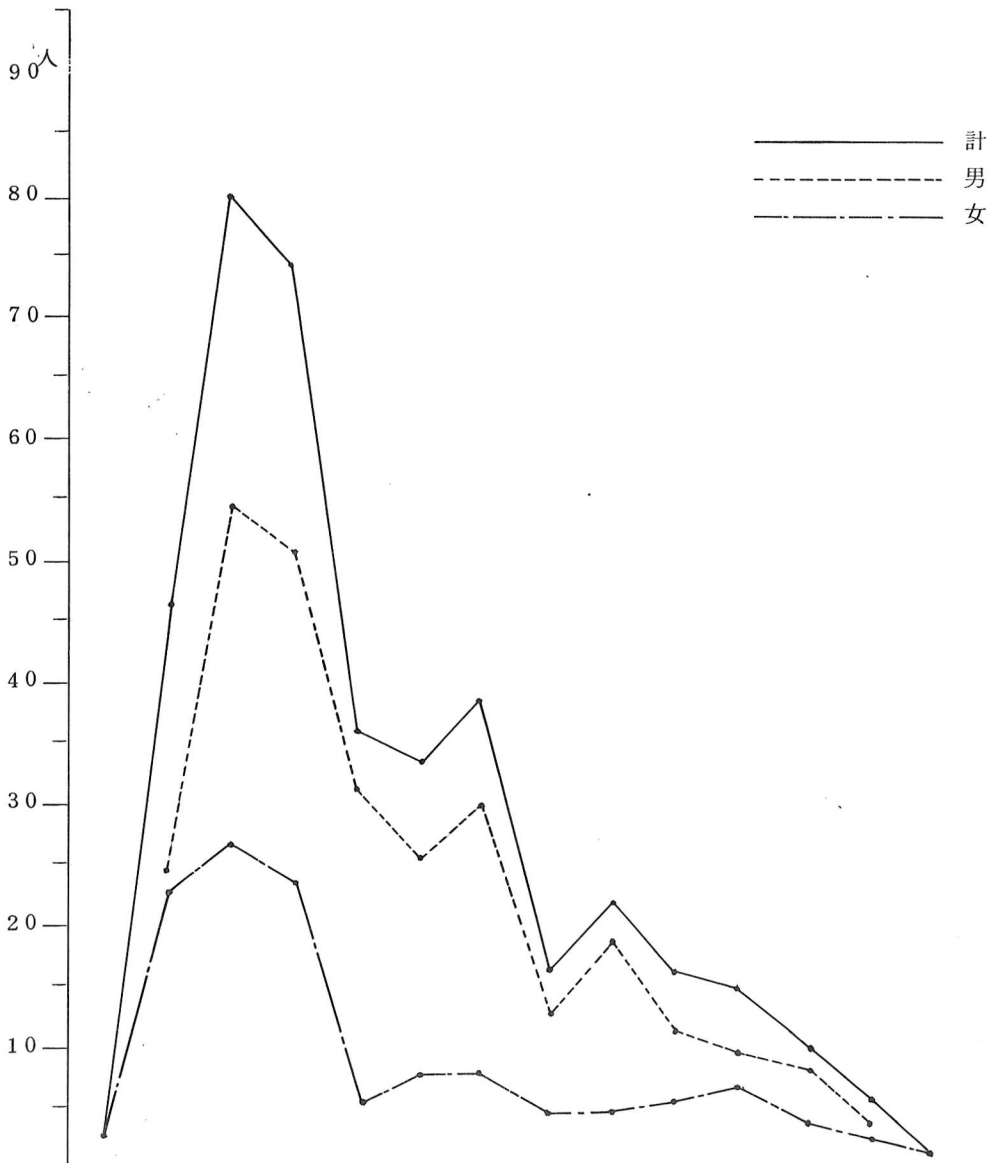
#### 4 採用試験

試験日	職種	応募者	受験者	登録者(採用者)
52. 8. 16	浄水場技能労務職	30人	28人	2(1)
"	給食作業員	4	4	2(2)
52. 11. 6	事務職	338	290	14(11)
"	技術職	40	36	4(2)
"	保父	1	1	0(0)
53. 2. 1	学校事務職	29	27	4(3)
"	保母	20	18	4(3)
"	清掃作業員	7	7	0(0)

#### 5 職員の居住地状況

市町村名	人員	市町村名	人員
福生市	191人	武蔵村山市	4人
青梅市	51	檜原村	3
秋川市	33	立川市	3
羽村町	30	日野市	2
日の出町	16	保谷市	1
昭島市	14	国分寺市	1
瑞穂町	12	東大和市	1
奥多摩町	12	入間市	1
五日市町	9	横浜市	1
八王子市	6	小金井市	1
合 計			392人

6 年齢別職員数



年齢	18 ~ 19	20 ~ 23	24 ~ 27	28 ~ 31	32 ~ 35	36 ~ 39	40 ~ 43	44 ~ 47	48 ~ 51	52 ~ 54	55 ~ 57	58 ~ 60	61 ~ 64	65 ~ 69	計
計	人 2	人 46	人 80	人 74	人 36	人 32	人 37	人 16	人 22	人 16	人 15	人 10	人 5	人 1	人 392
男		24	54	51	31	25	30	12	18	11	9	7	3		275
女	2	22	26	23	5	7	7	4	4	5	6	3	2	1	117



## 7 特別職報酬等審議会

### (1) 委 員

氏 名	住 所
山 下 光 一	福生市志茂120番地
高 水 惣 八	〃 熊川343番地
田 村 福 一	〃 福生1,044番地
大 沼 秀 伍	〃 本町23番地
齊 藤 巽	〃 熊川685番地
田 村 匡 雄	〃 福生1,112番地
宮 川 昭 二	〃 福生871番地
大 野 忠 一	〃 福生1,685番地
天 田 君 子	〃 本町2番地

### (2) 諮 問

福秘発第3586号

昭和53年3月6日

福生市特別職報酬等審議会会長 殿

福生市長 石 川 常 太 郎

特別職の報酬等の額について（諮問）

福生市特別職報酬等審議会条例第2条の規定により、次の事項について諮問いたします。

1. 議会の議員の報酬
2. 市長・助役・収入役及び教育長（以下「市長等」という。）の給料の額
3. 上記改定に伴う実施時期

(3) 審議会の経過

会 議	年 月 日	場 所
第 1 回	5 3. 3. 6	3 階 委 員 会 室
2	5 3. 4. 1 3	”
3	5 3. 4. 2 7	”
4	5 3. 5. 1 2	”

(4) 答 申

昭和53年5月12日

福生市長 石 川 常 太 郎 殿

福生市特別職報酬等審議会

会長 山 下 光 一

特別職の報酬等の額について（答申）

昭和53年3月6日付け、福秘発第3586号をもって諮問のあったことについて、別紙のとおり答申いたします。

答 申 書

福生市長から、昭和53年3月6日付けをもって「市議会議員並びに市長等の報酬額の改定と実施時期」について諮問を受けた当審議会は、その重要性を深く認識し、終始公正な立場に立って慎重に審議をまいりました。

申し上げるまでもなく、かつてない長期の景気停滞と大幅な円相場の高騰という異常な事態のなかで、我が国の経済情勢は依然として不況から立ち直れないまま、完全失業者数は140万人を超え、石油ショック以後最悪の数を記録しています。又今春闘においても

こうした厳しい情勢を反映して、賃上率も5%台という低率にとどまっているのが実情であります。

しかし、こうした社会情勢の激しい変動のなかでも、地方自治体に対する行政需要はますます多種多様化し増大しています。当市におきましても住民福祉の向上を基本に、生活環境施設の整備並びに教育文化施設等の施策が着実に実行されており、常に住民の幸せを願って御努力を傾注されております市長をはじめ市議会議員、その他市政にたずさわる各位に対し、委員一同心から敬意を表します。

さて、諮問を受けた報酬額等の改定であります。まず最初に当市の財政状況等、又各市との均衡上現行報酬額が妥当なものであるかどうかについて検討を行うことにしました。そのために、都下各市町村の財政力に関する調、報酬額等の改定状況、又当市における今後の収入見込等に関する十分な資料を事務局に求め、これらを有効適切な資料としながら積極的な審議を行ったところ、この際当市におきましても、報酬額等の改定を行うべきであるとの意見で一致をみた次第であります。

しかしながら、当審議会としても引上額の決定については、市民を代表する立場から、冒頭でも申し上げましたとおり、その責務の重要性を深く自覚し、安易な考え方で決定することは、今日のような不安定な社会情勢のなかで市民の理解を得ることは極めて困難であり、このことがかえって今後の円滑な行政運営の支障になりかねないことを深く認識し、その結果が十分納得の得られるものであるよう配慮しながら、慎重に審議をいたしました。

については、今回の審議会における報酬額等改定の要素となった主なものについて項目ごとに列記してみます。

## 1 福生市の特殊性

行政面積10.41Km<sup>2</sup>、人口48,000人という小さな市であります。西多摩の表玄関として商業を中心に発展しています。しかしながら、市面積の3分の1を占める横田基地の存在は、単に行政面積を狭小化させるとどまらず、市財政を圧迫し、更に広域的都市活動を阻害するとともに、市民生活に大きな不安と障害をもたらしています。又さらに関東集約化計画によってその存続はますます長期化の様相を呈しつつあります。従って当市にとって基地問題は、将来にわたって取り組むべき重要な課題であります。同時に、このような状況のなかでもなお、市民の住みよい環境を確保するために、まちづくりを着実に推進していかなければならない大きな困難を背負っております。

## 2 他市町村との比較

当市の報酬額等は、昭和52年4月1日改定したものであります。その後都下の各

市町村で報酬額等の改定が実施されており、当市の報酬額等は現在26市中23番目くらいに位置しています。又財政力をみると26市中下位にありますが、52年度決算見込では健全財政は維持されています。

ただし、市民一人当りの税収額については、26市中依然として24番目で、市民の税負担は他市より少ないことを示しています。その反面市民一人当りの決算額、投資的経費は26市中1位となっています。このことは地方財政の危機が叫ばれているなかで、福生市の特殊性を十分理解し、民生安定のため行政を積極的に推進する等、常に活発な政治活動を行っている結果、補助金の獲得等自主財源以外の資金により、市民に多くの福祉を還元していることを表わしているものであり、このため日夜努力されている理事者、市議会議員各位の責任と労に報いるための報酬額としては、決して十分なものであるとはいえない。

### 3 今春闘における賃金引上げ

高度成長時代における春闘は、その年の好況産業が先行し賃上げ相場をつくり、他の民間企業がこれに追いつき、さらに公企体、公務員が連動するという仕組みでありました。

しかし、低成長時代に入った50年春闘からは質的に大きく変わり、特に今春闘においては、経済不況にさらに年末からの異常な円高の動きが、各方面に大きなショックを与え、経営者側の企業存続が第一であるという主張が一段と高まり、これに対抗して労働側は個人消費の拡大が景気回復のカギであると主張し、大幅賃上げを要求したが、完全失業者数が140万人を超えるという雇用の危機と、長びく不況のなかで、賃上率が5%台という相場に落ちついたのが実情であります。

### 4 一般職員との比較

現行一般職の職員給与と市長等常勤特別職職員の報酬額等を比較すると僅差にすぎません。

しかし、市長等常勤特別職職員といえども勤務形態は一般職員と同様であります。増大する行政需要を満すため、複雑多岐にわたる内容を適確に判断し、処理する能力と責任を要求され、常に住民福祉の向上を図るべき職責は、一般職員に比べて非常に高いものがあり、その責務はますます重要になってきております。このような観点から給料に対する基本的な考え方は、一般職員との差があつて当然であると考えられます。従つて、その給料はそれぞれの職務と責任の度合い、財政構造、社会経済情勢、他市町村との均衡、一般職の職員給与の状況等を勘案して定めるのが望ましい。

報酬額等の改定につきまして審議会における意見の主なものを要約しますと、以上の

ように4点にまとめることができますが、この他にも多数の意見が出され、それらを調整しつつ慎重に審議を行いました結果、極めて厳しい社会情勢であります。市長をはじめ市議会議員各位の今後の活躍をさらに期待申し上げ、その重責に対する処遇といたしましては誠に不満足なものであると思われませんが、次のとおり本答申を行うものであります。

理事者、議員諸氏におかれましては諸般の情勢を御賢察いただき、なお一層の御努力によりまして、その職務を遂行されますよう期待いたします。

### 1 議会議員の報酬額

議 長	月 額	2 4 0 0 0 0 円
副 議 長	月 額	2 1 5 0 0 0 円
常 任 委 員 長	月 額	2 0 5 0 0 0 円
議 員	月 額	2 0 0 0 0 0 円

### 2 市長等の給料の額

市 長	月 額	4 7 5 0 0 0 円
助 役	月 額	4 1 5 0 0 0 円
収 入 役	月 額	4 0 0 0 0 0 円
教 育 長	月 額	4 0 0 0 0 0 円

### 3 実施時期

本答申に係る改定は、昭和53年4月1日から実施すること。

## 8 給与改定

区 分	福 生 市				東京都人事委員会勧告				国家公務員人事院勧告			
	5 2		5 1		5 2		5 1		5 2		5 1	
年 度	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
給 料	9,200	5.27	7,400	4.63	11,425	5.71	10,205	5.57	10,611	6.12	9,527	9.44
諸手当等	1,868	1.07	2,049	1.28	1,943	0.97	1,925	1.05	1,394	0.80	1,487	1.41
計	11,068	6.34	9,449	5.91	13,368	6.68	12,130	6.62	12,005	6.92	11,014	10.85

# 職 員 厚 生 係

## 1 職員研修

研 修 者	期 日	日 数	対 象 者	修了者数	主 な 研 修 内 容
組 織 内 研 修					
新規採用職員研修	4. 4～ 4. 5	2 日	新規採用職員	16人	福生市の職員となって、職場の人間関係
現業職員研修(第1回)	8. 25	0.5	現業関係職員	30	市役所職員としての心構え、その他
” (第2回)	8. 26	0.5	”	39	”
保育所職員研修	10. 22～10. 29	1	保育所関係職員	20	保育所職員の役割、その他
中堅職員研修(第1回)	2. 22～ 2. 23	2	入所7年以上の 主事・技師	26	中堅職員の立場、仕事の進め方
” (第2回)	3. 1～ 3. 2	2	”	27	”
” (第3回)	3. 8～ 3. 9	2	”	28	”
東京都市町村職員研修所研修					
新任研修第一部(第1回)	4. 11～ 4. 15	5	新規採用職員	3	私達の仕事・私達の役割
” (第2回)	4. 18～ 4. 22	5	”	6	”
” (第3回)	6. 20～ 6. 24	5	”	3	”
” (第4回)	8. 31～ 9. 6	5	”	2	”
” (第5回)	10. 24～10. 28	5	”	4	”
新任研修第二部大短卒(第1回)	9. 26～10. 1	5.5	新任研修一部終了者	3	憲法と地方自治制度、その他
” (第2回)	10. 3～10. 8	5.5	”	2	”

研 修 者	期 日	日 数	対 象 者	修了者数	主 な 研 修 内 容
新任研修第二部高 卒(第2回)	10. 17~10. 22	5.5 <sup>日</sup>	新任研修一部終了者	2 <sup>人</sup>	多摩・島しょ問題、その他
” 大短卒(第3回)	12. 5~12. 10	5.5	”	2	憲法と地方自治制度、その他
” ” (第4回)	2. 13~ 2. 18	5.5	”	2	”
現任研修第一部(第1回)	4. 5~ 4. 12	6	新任研修終了者	2	行政法・事務管理
” (第3回)	6. 8~ 6. 15	6	”	2	”
” (第4回)	8. 9~ 8. 16	6	”	2	”
” (第6回)	3. 7~ 3. 14	6	”	2	”
現任研修第二部(第1回)	5. 10~ 5. 17	6	現任研修一部終了者	1	仕事の管理技法、その他
” (第2回)	6. 7~ 6. 14	6	”	1	”
” (第3回)	7. 20~ 7. 27	6	”	1	”
” (第4回)	8. 23~ 8. 30	6	”	1	”
” (第5回)	11. 15~11. 22	6	”	1	”
” (第6回)	12. 13~12. 20	6	”	1	”
” (第7回)	1. 24~ 1. 31	6	”	1	”
” (第8回)	2. 21~ 2. 28	6	”	2	”
係長研修第一部(第1回)	5. 9~ 5. 14	5.5	係長一部未修者及び 昇格者	1	職場管理、仕事の管理と問題解決
” (第2回)	5. 16~ 5. 21	5.5	”	1	”
” (第4回)	7. 13~ 7. 19	5.5	”	1	”
” (第6回)	11. 7~11. 11	5.5	”	1	”
” (第7回)	1. 30~ 2. 3	5.5	”	1	”

係長研修第二部(第5回)	1. 24～ 1. 27	4	係長一部修了者	1	部下指導とリーダーシップ
課長研修第一部(第2回)	7. 25～ 7. 28	4	課長一部未修者及び 昇格者	1	管理者の位置づけ、今日の行政環境
文書法規科研修	5. 9～ 5. 13	5	文書関係職員	1	法規の作成、条例と規則
道路科研修	5. 30～ 6. 7	7	道路関係職員	1	工事の施行管理、事例研究
固定資産税科研修	6. 30～ 7. 7	6	固定資産税関係職員	1	固定資産税、評価実務(土地)
予算事務科研修	7. 28～ 8. 3	5	予算関係職員	1	予算の通則、予算編成
研修担当者科研修	8. 2～ 8. 5	4	研修担当者	1	職場内研修の考え方、研修企画の手順
下水道科研修	8. 8～ 8. 19	10	下水道関係職員	1	下水道事業計画、管渠工事の施工
徴収事務科研修	9. 12～ 9. 27	10	徴収関係職員	1	滞納処分、財産調査
保母科研修(園長)	9. 27～ 9. 30	4	保育園園長	1	保育の現状と課題、その他
指導技法科研修	10. 11～10. 13	3	係長以上の者	1	講義をする場合の心構え、司会の方法
契約事務科研修	10. 19～10. 26	6	契約関係職員	1	契約関係法、契約事務手続
保母科研修(現任)	11. 30～12. 6	5.5	実務経験2年以上の者	1	学級運営、心身障害児保育
地方公務員法科研修	1. 12～ 2. 3	8	実務経験3年以上の者	1	自治体と地方公務員制度
自治大学校研修					
第二部第59期研修	4. 6～ 6. 23	56	30才以上43才未満 の係長以上の者	1	法制経済、地方行政
“ 60期研修	10. 5～12. 24	57.5	“	1	“
“ 61期研修	1. 6～ 3. 25	55.5	“	1	“
東京都公害局研修					
公害事務研修(初級)	5. 17～ 5. 20	4	公害関係職員	1	大気汚染、騒音振動の基礎知識
“ (中級)	6. 13～ 6. 17	4	“	2	悪臭の規制基準、防止技術



研 修 者	期 日	日 数	対 象 者	修了者数	主 な 研 修 内 容
公害実務研修(環境法規科)	7. 5~ 7. 7	3日	公害関係職員	1人	下水道法、都市計画法
東京法務局研修					
戸籍事務研修(初級)	5. 30~ 6. 4	6	戸籍関係職員	1	出生、認知、養子縁組
外国人登録事務研修	6. 6~ 6. 9	4	〃	1	登録事務、協定永住事務
戸籍事務研修(中級)	6. 15~ 6. 17	3	〃	2	涉外戸籍、戸籍訂正
〃 (初級)	9. 5~ 9. 10	6	〃	2	戸籍制度、届出制度、その他
〃 (中級)	9. 19~ 9. 21	3	〃	1	涉外戸籍、戸籍訂正

## 2 福利厚生

### (1) 福生市職員共済組合

#### ア 事業実施状況

月 日	事業内容	参加人員
4. 1～3. 31	職員家族の保養施設を開設	424人
7. 17	第18回東京都市町村職員共済組合野球大会に参加	60
8. 4	福生七夕まつり流し踊りに参加	60
8. 13	第17回東京都市町村職員共済組合卓球大会に参加	10
8. 13	第29回26市職員親睦バレーボール大会に参加	27
9. 3	第17回東京都市町村職員共済組合バレーボール大会に参加	27
11. 5	第13回26市職員親睦陸上競技大会に参加	8
9. 2～11. 20	職員親睦旅行を実施	139
3. 26	職員、家族慰安会を実施	700

#### イ 給付金支給状況

種類	件数	金額
入学祝金	23人	230,000円
結婚祝金	組合員 19	542,000
	家族 7	
結婚記念祝金	14	210,000
出産祝金及び見舞金	29 1(死産)	300,000
傷病見舞金	組合員 22	500,000
	家族 6	
弔慰見舞金	15	495,000
退職慰労金	12	404,500

#### ウ 生計資金貸付状況

貸付者数	116人
貸付金額	9,350,000円
運用資金額	4,500,000円

(2) 東京都市町村職員共済組合

ア 組合員数及び被扶養者数

組 合 員 数			被 扶 養 者 数
男	女	計	
279 人	117 人	396 人	482 人

イ 掛金負担金

短 期		長 期			事 務 費
掛 金	負 担 金	掛 金	負 担 金	追 加 費 用 (既 裁 定 含 む。)	
33,519,407円	33,521,626円	35,899,667円	49,948,816円	37,980,829円	1,932,440円

ウ 各種給付金

(ア) 短期給付金

種 類	件 数	金 額
出 産 費	組 合 員	8 件 993,000 円
	配 偶 者	17 1,900,080
育 児 手 当 金	組 合 員	7 16,800
	配 偶 者	17 40,800
埋 葬 料	組 合 員	0 0
	被 扶 養 者	3 417,200
療 養 費	組 合 員	3 72,080
	被 扶 養 者	3 22,092
高 額 療 養 費	10 179,019	
出 産 手 当 金	0 0	
傷 病 手 当 金	0 0	
休 業 手 当 金	0 0	
災 害 見 舞 金	0 0	
弔 慰 金	組 合 員	0 0
	被 扶 養 者	0 0

## (1) 長期給付金

種 類	件 数	金 額
退 職 年 金	2 件	2,344,100 円
減 額 退 職 年 金	0	0
通 算 退 職 年 金	1	553,400
退 職 一 時 金	9	4,625,400
返 還 一 時 金	0	0
廃 疾 年 金	0	0
廃 疾 一 時 金	0	0
遺 族 年 金	0	0
死 亡 一 時 金	0	0
通 算 遺 族 年 金	0	0

## (2) 付加給付金

種 類	件 数	金 額	
家 族 療 養 費	1,225 件	2,630,778 円	
結 婚 手 当 金	19	570,000	
災 害 見 舞 金	0	0	
埋 葬 料	組 合 員	0	
	被 扶 養 者	3	150,000
出 産 費	組 合 員	8	320,000
	配 偶 者	17	680,000
育 児 保 健 助 成 金	24	182,400	
入 院 附 加 金	42	307,000	
入 院 助 成 金	63	447,500	

エ 貯金及び貸付状況

種 類		件 数	金 額
貯 金 残 高		298 件	170,600,861 円
貸 付	普通貸付	94	25,683,682
	住宅貸付	95	242,552,522
	特別貸付	3	449,036

オ 健康組合員の表彰

男	女	計
30 人	18 人	48 人

カ 契約旅館・保養所利用状況

種 別	利用者数(被扶養者含む。)	補 助 金 額
契 約 旅 館	357 人	535,500 円
契 約 保 養 所	51	38,250
保 養 所 ( た て し な )	204	286,500

(3) 健康管理

ア 検 診

種 目	実 施 期 日	受 診 人 員
レ ン ト ゲ ン 検 診	4月25日 5月27日	349 人
定 期 健 康 診 断	5月 23日 24日 25日	199
胃 検 診	6月 17日 18日	47

イ 予防接種

種 目	実 施 期 日	受 診 人 員
日 本 脳 炎	6月 1日	87 人
インフルエンザ 1回目	9月 12日	61
” 2回目	9月 30日	51

(4) 公務災害補償

ア 法令別発生状況

区 分	地方公務員災害補償法	非常勤職員公務災害補償条例	計
件 数	5	0	5

イ 職務態様別発生状況

区 分	職 務 遂 行 中		職務遂行に伴 う必要行為中	出張中	計
	施設内	施設外			
事務職	0件	1件	0件	0件	1件
技術職	0	1	0	0	1
労務職	3	0	0	0	3
計	3	2	0	0	5

(5) 被服貸与状況

区 分	男 子	女 子	
	事務服	夏事務服	冬事務服
種 類		事務服(上)	事務服(上・下)
貸与数量	0	97枚	92枚
貸与者数	0	86人	80人

(6) 東京都市町村職員退職手当組合

ア 負担金

種 類	金 額
市長	2,766,320 円
助 役	1,213,500
収入 役	971,360
教 育 長	1,017,120
一 般 職	5,336,049.6
特 別 負 担 金	6,968,500

イ 退職手当

種 類	件 数	金 額
普 通 退 職	10 件	17,997,100 円
死 傷 病 退 職	0	0
勸 じ ょ う 退 職	2	22,439,000